

学習

私は今回文法、リスニング、ディスカッションの3つの授業を受講しました。レベルが高く、授業は全て英語なので英語で何かを伝えるという体験をするにはとてもいいと思います。今回 UCSD Extension で4週間過ごしてみて、1番感じたのは他の国からの留学生との教養の差です。語彙力や、文法、積極性の差ももちろん感じましたがそれ以前に自分の元々持っている知識の差を痛感しました。特にディスカッションでは環境問題を多く取りあげた内容で、2人1組になって話したりグループで話したりしたのですが、みんな私の知らない知識をたくさん持っているのに自分には上辺だけの知識しかなく、きっと圧倒的に読書量や自習の量が違うんだろうなととても刺激を受けました。

また、プログラムとは別に、UCSDの4年生の日本語のクラスのお手伝いをするというのをやらせて頂いたのですが、お手伝いなんていないだろうと思うほどみなさん日本語が上手でびっくりしたし、お互いにわからない表現があったりすると教えあったり、新しい知識を入れたりしてとても有意義な時間を過ごせました。

生活

私は今回アナトリアというアパートメントで生活をしていました。四人部屋のうち首都大から行った日本人3人と中国からの留学生で他のプログラムを受講していた女の子と一緒にでした。日常生活では、やはり日本人といることが多くなるとどうしても日本語ばかり喋ってしまうので、私はそれが嫌でせっかく来たならたくさん英語を喋りたいと思い、その中国人の女の子とかなりの時間を一緒に過ごしました。その子はとても英語が上手で沢山助けてもらいました。一緒にアウトレットに行ってお買い物をしたり、美術館に行ったり、海など景色の綺麗なところでたくさん写真を撮ったり、動物園にも行きました。ご飯も何度か一緒に食べに行き、中国のことを教えてもらったり、逆に日本のことを教えてあげたりしました。その子のおかげで中国人の友達も沢山できて、何度か何人かと一緒にバスケットをしました。今年の夏、日本に来てくれることになり、今から再会がとても楽しみです。このように日本人留学生と少し離れて行動することで、1ヶ月ほぼ英語しか喋らない生活が出来たかなと思います。そのおかげで日常会話はかなり喋れるようになった気がします。お店でお買い物するにしても、外食するにしても、大学の外では喋られている英語がとても早いし、訛りがあったり発音されない音があったりと、聞き取るのが大変な時もありましたが、なんとか聞き取ろうとすることでだんだんと理解できるようになって行ったのが嬉しかったです。上記にあるように学校が午前で終わるので午後や休日はフリーの時間がとても多いです。宿題との兼ね合いが大事ですが足を伸ばしてたくさん色々なところに行くのはとてもいい事だと思います。食事については自分は食費をあまりかけたくなかったので外食はあまりしませんでした。アパートメントのキッチンがとても充実していたので思う存分使って自炊をしました。また、交通手段としてはバスを使い、バスでは時間がかかりすぎると思った時にはUBERを使いました。公共交通機関があまり発達してないので遠くに行く時はUBERがとても便利です。

大変なこともあったけれどとても充実した1ヶ月だったと感じています。何よりアメリカの文化に沢山触れられます。そして1ヶ月国外で過ごすことで日本の良い所も悪い所も見ることが出来ます。この体験はこれからの自分の人生に必ず役に立つなと心から思いました。留学に行こうと思っている人に伝えたいのは周りに

日本人が沢山いるのでついつい日本人と行動して日本語を喋ってしまうとは思いますが、勇気を出してそこからあえて離れて1ヶ月積極的に英語を使うことを意識することを是非やってみてください。これから行こうと思っている方達にはアメリカで積極的に様々なことにチャレンジして欲しいなと思います。

